

相模線・八高線・川越線 実態調査開催！！



運輸車両部会は、8月16日に「相模線・八高線・川越線実態調査」に参加し、東京地本、部会常任委員で調査を行いました。

相模線は、今年度9月より205系からワンマン運転が可能なE131系へと置き換えが順次行われます。調査した日は、お盆休み期間中でもあり、通常時とは異なる人流ではありましたが、お客さまの流動が多く果たしてこの乗降人数で出来るのか？という疑問が残りました。

また、小田急電鉄との乗換駅では、乗換えが容易で改札を入ると目の前がホームとなり、駆け込み乗車が見受けられ、ドア挟まりや触車事故につながりかねない事象も発生しています。

今後中編成ワンマン運転化が計画されている八高線（高麗川～八王子）や川越線では、各駅での乗降は多く、ドア挟まりや触車事故につながりかねない危険性も中編成ワンマン運転にはあります。

会社は、ワンマン運転については未定としていますが、仮にワンマン運転が実施された場合に、駅での案内や助けを必要とするお客様対応、車内での急病のお客様の対応など仕事量増加に伴う運転士への負担が増すことが問題で上げられます。ひがし労運輸車両部会は安全が担保されないワンマン運転化には断固反対です。今後もワンマン運転化の問題点を調査し、警鐘を鳴らしていきます。

職場と仕事を守るために 今、立ち上がろう！！